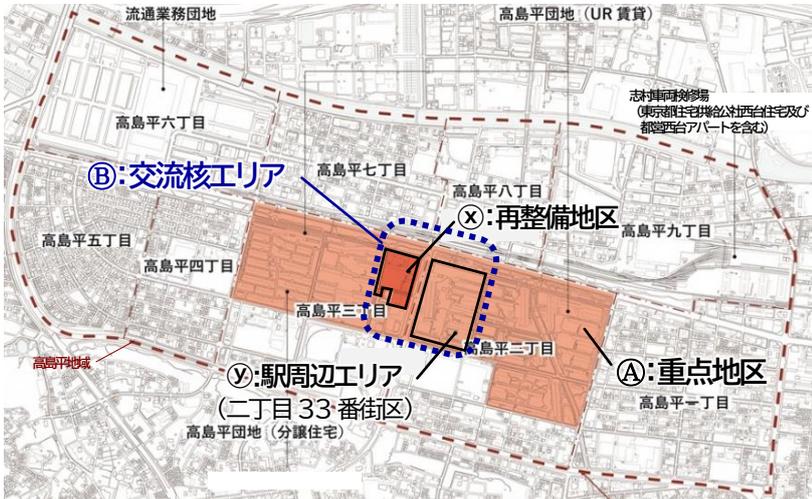


高島平地域のまちづくりの状況について

1 対象地域

高島平一丁目から九丁目まで（約314ha）



【凡例】

(A):重点地区
都市再生を効果的・効率的に進めるための第一歩となる地区

(B):交流核エリア
高島平地域都市再生実施計画に基づき、連鎖的都市再生により地域内外の交流核を形成するエリア
(X)再整備地区・(Y)駅周辺エリアを含む

(X):再整備地区(約2ha)
旧高七小跡地を含む公共用地

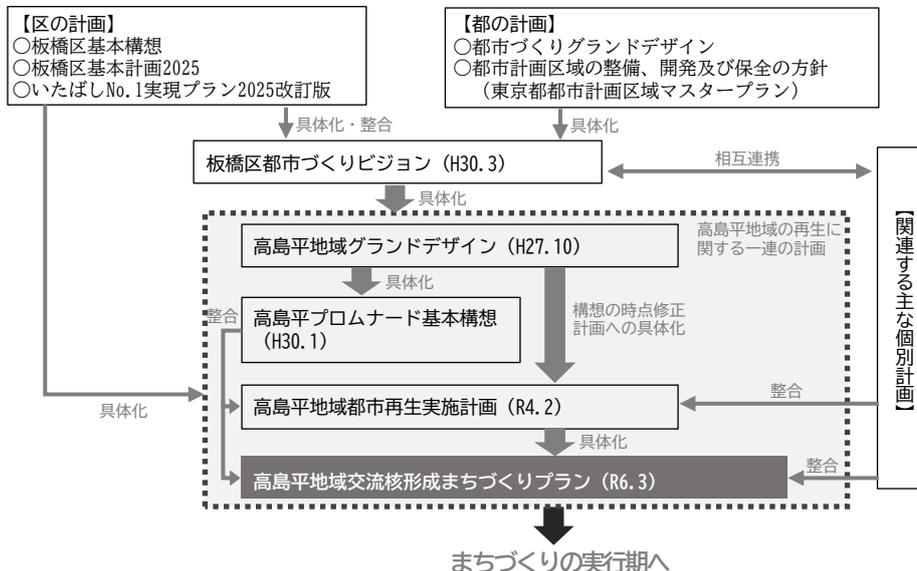
(Y):駅周辺エリア(約6ha)
二丁目33番街区(UR賃貸住宅)

2 まちづくりの経緯

区は、昨年3月に都市再生のスタートに向けて、高島平駅を中心とする交流核エリアでの事業展開を具体化するプラン「高島平地域交流核形成まちづくりプラン（以下「交流核プラン」）」を策定したのち、UR都市機構との協働によるまちづくりの推進及び交流核の整備に向けた基本協定及び実施協定を締結し、今年度から「交流核プラン」に基づく具体的取組に着手している。

- ・平成27（2015）年10月 「高島平地域グランドデザイン」策定
- ・令和4（2022）年2月 「高島平地域都市再生実施計画」（以下「実施計画」）策定
- ・令和4（2022）年3月 「高島平地域の連鎖的都市再生の推進に係る基本合意書」締結
- ・令和6（2024）年3月 「交流核プラン」策定、「区・UR基本協定及び実施協定」締結

3 計画体系



4 交流核プランに基づく具体的な取組

(1) 地区計画による良好なまちの誘導

「交流核プラン」に基づき、まちの将来像を共有しながら、地区として一体感を持ったまちづくりを進め、地域の魅力を大切にしながら、良好なまちを誘導していくため、「高島平二・三丁目周辺地区」において、地区計画を定めていく。

		凡例	地区計画区域	地区整備計画区域
名称	高島平二・三丁目周辺地区 地区計画			
位置	高島平一丁目、高島平二丁目、高島平三丁目、高島平七丁目、高島平八丁目及び高島平九丁目の各地内			
面積	約39.5ha			

①高島平まちづくりギャラリー

地区計画をはじめとする、高島平のまちづくりに関する地域住民の理解をさらに深め、区の考えを直接お伝えする機会として、1～3月の約3か月間にわたり、高島平駅周辺の各所で「高島平まちづくりギャラリー」を開催している。本ギャラリーは、高島平駅周辺において、会場を変えながら、区で検討中の情報も含め、地域への関心事にフォーカスした展示を行うものである。

会場	日程	内容
旧高島第七小学校 (職員室)	1/14・16・20・22・24・26・28・30、2/4・6・10・12・14 の13～16時	高島平まちづくりのパネル展示、職員への個別相談
高島平図書館 (コミュニティスペース)	1/5～1/30の9～20時 ※図書館の休館日を除く	高島平まちづくりや地域の様々な活動に関するパネル展示
UR 高島平団地 (二丁目33-2集会場)	2/18、20・24・26・28、3/4・6・10・12・14の13～16時	高島平まちづくりのパネル展示、職員への個別相談

※上記以外の開催予定(会場・日程等)については、決定次第、順次地域への周知を行う。



旧高島第七小学校 会場



高島平図書館 会場



UR 高島平団地 会場
(現地周知イメージ)

②今後の予定

- ・令和7年3月7～28日 : 地区計画(案)の公告・縦覧・意見書の募集
- ・令和7年4月下旬～5月上旬 : 板橋区都市計画審議会(付議)
- ・令和7年6月頃 : 都市計画の決定・告示

(2) 協働によるまちづくりの推進

① ウェルフェア連携協定の取組

区・UR 都市機構・東京都健康長寿医療センターによる「高島平地域のウェルフェアの発展に向けた連携協定」に基づき、高齢化・多国籍化が進行する高島平地域において、認知症の予防や進行抑制・多文化共生に資する知的・農的活動に取り組むものである。

ア) 知的活動（ココからペア碁入門教室・多文化共生ペア碁カフェ）

- ・UR 高島平団地の集会所において、地域に居住する囲碁未経験の高齢者を対象としたペア碁入門教室を全 12 回開催。現在は、入門教室の卒業生たちが自主グループを形成し、ペア碁を楽しみながら、あいキッズでの多世代交流などにも活動を発展させている。【令和 5 年 10 月～】
- ・特に多国籍化が顕著にみられる UR 高島平団地において、上記自主グループの方と共に、多様な文化的背景をもつ方々を含めた交流の場づくりを目的としたペア碁カフェを開催。各種のまちづくりイベント等において、積極的に PR を行っている。【令和 6 年 7 月～隔月開催】

イ) 農的活動（高島平みんなの農園）

- ・UR 高島平団地の屋外空間を活用し、板橋区版 AIP を実践する「チームオレンジ高島平」（区内登録第 1 号）を中心に農的活動を展開。農園ならではの環境や様々な活動を通じて地域の繋がりを広げ、認知症の方やその家族をはじめとした誰もが元気に楽しく暮らせる共生社会の実現に寄与する取り組みを行っている。【令和 6 年 2 月～】
- ※ 1) 2) 共に東京都健康長寿医療センターの研究事業として実施

② 公共空間等を活用したイベント開催

ア) #平暮らしキャラバン（区：共催）

- ・区・UR 都市機構が共催し、都立赤塚公園や UR 高島平団地内広場において、地域にお住まいの方をはじめとする地域内外の子育て世帯への訴求を目的として、ランニングバイクのレースや教室、ダンスパフォーマンス等のイベントを開催している。
- ⇒【令和 6 年度実績】第 4 回 9/14（都立赤塚公園）、第 5 回 12/7（UR 高島平団地内広場）
- ※都立赤塚公園で開催する場合は、東京都公園協会も共催

イ) 高島平ポットラック（区：共催）

- ・区と民間団体（高島平ポットラック）が共催し、高島平駅南側の高島平緑地において、様々な出店者がそれぞれの得意を持ち寄る形で、公共空間の利活用により人々の活動がまちと結びき、まちの暮らしが豊かになる事を目的としたイベント「高島平ポットラック」を開催している。
- ⇒【令和 6 年度実績】第 2 回 5/26、第 3 回 11/24
- ※高島平駅東口の高架下空間で開催されている高島平マルシェとの同日開催とすることで、地域住民の交流促進や回遊性向上に寄与することを狙いとしている。

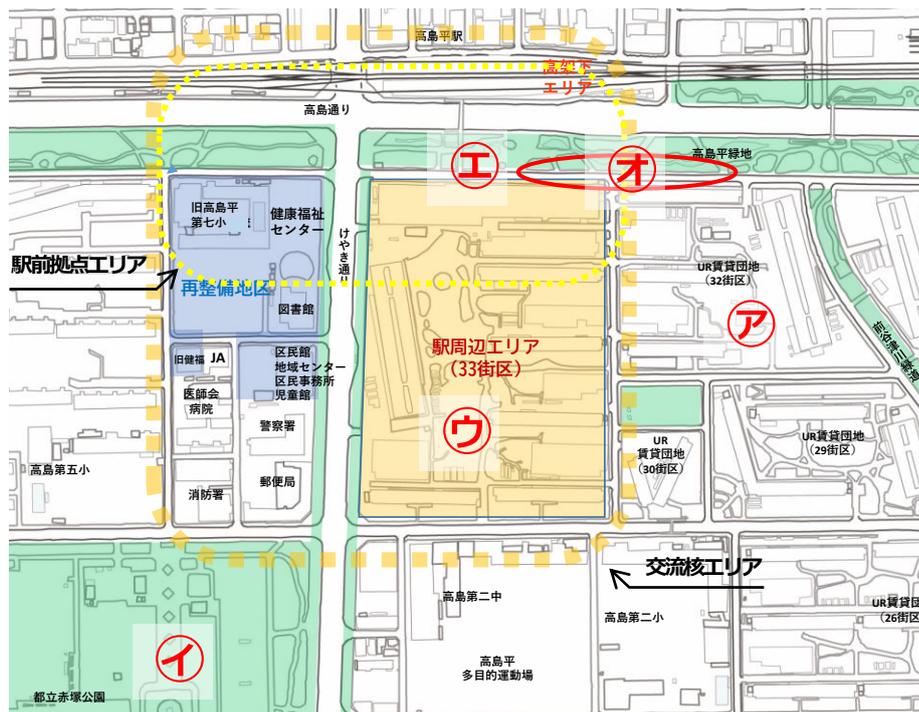
ウ) Cleanup&Coffee Club（CCC）（区：協力）

- ・民間団体（高島平ポットラック、高島平キッチンカーコミュニティ）が共催し、「ゴミを拾って、コーヒーを飲む。まちをきれいにして、友達をつくる。」をコンセプトに、高島平緑地と高島平みんなの農園を舞台に地域を思う人たちのつながりを広げるミニイベントが行われている。
- ⇒【実績】第 1 回 10/20、第 2 回 11/10、第 3 回 12/8、第 4 回 1/19

【参考】協働によるまちづくりの推進の取組 活動写真



<活動マップ>



※交流核エリア、駅前拠点エリアの位置【出典：交流核プラン（5頁）の図を一部加工】